

アート系NPOとしての新チャレンジ！

舞台アート工房・劇列車は、パペットシアターPROJECTを担っていくために、組織基盤強化を図っています。その一端を、ちょっぴり御紹介します。

① HPの全面リニューアル！

舞台アート工房・劇列車のHPが全面リニューアルされています。みなさま、リニューアルされたHPをのぞいてみませんか。また、ブログ「劇列車の地球的日々」は、劇列車最新情報を掲載しています。紙媒体による伝達では追いつかない最新情報はこちらでキャッチ！



② 寄付制度の充実をスタート！

「事業の20%を寄付でまかなう」。それが寄付の最終目標。そのために2024年度に寄付制度の充実をスタート！最初のステップとして、公演チケットに寄付付きチケットを導入しました。

最新作公演情報

うしかたやまんば ~里の婆がかたるむかしばなし

【日時】2024年7月21日(日) ①13:00/②15:30

【会場】石橋文化センター 石橋文化会館・小ホール

最新作の短編人形劇「うしかたやまんば」は、むかしばなしの人形劇。小学校低学年の子どもたちを主な観客対象としています。

里の婆が、仲間外れにあっている「おはなちゃん」にむかしばなしを語ります。そんな劇スタイルをとることで、有名なむかしばなし「うしかたとやまんば」に批評的観点をいれてみました。子どもたちに考えてもらう人形劇作品です。

みなさま、どうぞお越してください。



事務局 | 福岡県久留米市山本町耳納838-1 アトリエ | 福岡県朝倉市秋月197「アトリエ山猫舎」
電話 | 090-8222-8928 (釜堀) メール | info@dramatrain.jp ホームページ | https://www.dramatrain.jp/

劇列車の活動を伝えるブログ「劇列車の地球的日々」
週1回めやすで更新中～QRコードからブログへアクセス→



特集

2024年度のパペットシアターPROJECT

困難を抱える親子への文化体験支援の本格展開へ

～パペットシアターPROJECTとは?～

困窮・虐待(DV)・不登校などの深刻かつ困難な数々の問題。多くの場合、一人の困難を抱えた人は、いくつもの困難を複合的に抱え込んでいます。劇列車は「上演班を保有するアート系NPO」として、この問題の解決に向けて具体的な一歩を進めてきました。それが弊団体のパペットシアターPROJECT(困難を抱えた親子への文化体験支援)です。

本事業では、演劇(人形劇)のもつ「ひろばづくり」の力と自己内対話を進める力を活用して、困難を抱えた当事者の親子のみなさんに、文化体験という形で心への支援を届けています。2024年度には、独立行政法人福祉医療機構(WAM)様の助成を受けてパペットシアターPROJECTを。そして、ちくご川コミュニティ財団様の「休眠預金等活用事業」に採択されてパペットシアターPROJECTIIを、この二種類の事業を実施することになりました。本格的展開がはじまります。



2024.1.18(日)
ボナペティさんと連携しての「一郎くんのリスタート」上演後の参加者対話のひろば
活発なおしゃべりが花盛りでした。



2023.10.22(日)
久留米市立金丸小ワールドルームと連携しての
人形劇ワークショップ
親子で楽しい交流の時間を過ごしました。

二つの事業 「パペットシアターPROJECT」と
「パペットシアターPROJECTII」は、どこがちがうの？
——そんな疑問にお答えします。

支援団体と連携して文化を届ける『パペットシアターPROJECT』

(独立行政法人福祉医療機構WAM「子どもの未来応援基金」助成事業)

こちらの文化体験支援事業では、当事者支援団体（食支援団体・無料塾・フリースクールなど）と連携して、当事者支援団体が支援する当事者の方々に文化体験を届けてきました。2020年度にスタートさせ、2024年度は5つの支援団体と連携して、当事者の方々に文化体験を届ける計画です。



2024. 2. 8 (木)
みんなの学び館さんと連携しての観劇
「一郎くんのリスタート」

新しいチャレンジ!

従来への支援外に文化を届ける『パペットシアターPROJECTII』

(ちくご川コミュニティ財団「休眠預金等活用事業(緊急枠)」助成事業)

こちらの文化体験支援事業では、従来の支援の対象外にいる困難を抱えた親子へ文化体験を届けます。そのために、パペットシアターPROJECTにはない次のような新しい特徴があります。

① かけあわせ!文化体験×食材・日用品支援

当事者の方々の文化への参加障壁(行きにくいという壁)を下げ、同時に食支援への参加障壁も下げるために、食支援(フードドライブ)と文化体験支援をかけあわせて実施します。

② 4回のプログラムでの文化体験

秋以降、久留米市内の公共ホールを借りて年4回プログラムを実施します。プログラム参加は1回のみ参加も可能ですし、連続参加も可能です。

③ 新規ボランティア・新規ファシリテーター養成講座開講

食財配布支援ボランティアを新規募集スタート。また観劇後の対話を進行させる「対話ファシリテーター」、及び人形劇ワークショップ講師を補助する「人形劇あそびファシリテーター」を養成します。

弊団体会員であるかそうでないかは不問。誰もがどこかで、様々な当事者性を抱えています。そんなことに自覚的な市民のちからで、素敵な時間をつくりあげませんか?お力をお貸しください。

パペットシアターPROJECT関連イベント

～みなさまの御参加をお待ちしております～

パペットシアターPROJECTが本格展開する2024年。新イベントや様々な養成講座を続々計画中。詳細が決まりしだい、チラシやSNSでお知らせします。

「困っている方々のためになにかしたい!」「私も当事者だからなにかしたい」。そんな市民の皆さんの参加をお待ちしています。

I. 市民企画

○ シンポジウム「困難を抱えるこどもに共通する心の状態を考える」

様々な当事者支援の市民活動団体(CSO)から登壇者を招き、支援の現場からみた「困難を抱えたこどもの心の状態」を報告していただき、そこから学びあうシンポジウム。筑後川流域の市民活動団体(CSO)200団体を支援してきたちくご川コミュニティ財団の庄田様の司会により、様々な領域で活躍されるCSOの方々の声を引き出します。

2024年8月31日(土) 13:30~16:00 みんなの学び館にて
(追って詳細発表)

II. 養成講座

① パペットシアターPROJECT~はじめてのボランティア講座

困っている人の役にたたいけれど、なにをどうしていいかわからない...。そんな市民のみなさんを対象とした「はじめてのボランティア講座」。興味のある方、会員内外問わず大歓迎(追って詳細発表)。

② パペットシアターPROJECT~対話ファシリテーター養成講座

観劇して対話する。対話とは、他者との交流によって自己内対話をする気づきの時間です。そのためには参加者の対話を交通整理するファシリテーターが必要。対話ファシリテーターを養成する1日講座(追って詳細発表)。

③ パペットシアターPROJECT~人形劇ファシリテーター養成講座

人形劇ワークショップは、参加者の主体的な参加で行われる楽しい時間です。参加者のあそびを補佐する補助講師養成の半日講座。実際に人形を工作し、あそびの補助のポイントを学びます(追って詳細発表)。

